

輝け！ 高生中

文責 校長 和田義則

1、「15の春を笑顔で」 3年私立入試始まる

1月になり、3年生はいよいよ進路決定の時期になりました。1月は私立高校入試（推薦・一般）、2月は公立高校推薦入試、3月は公立高校一般入試があります。3年生にとっては不安や心配等と自分との闘いながら、受験勉強をがんばっていると思います。最後まで自分をあきらめずに、自分を信じて頑張ってください。

29日（火）九州国際大学付属高校、慶成高校、仰星学園高校、星琳高校、豊国学園高校

30日（水）敬愛高校、西南女学院高校、美萩野高校、自由ヶ丘高校、真颯館高校

31日（木）常磐高校、東筑紫学園高校、高稜高校、折尾愛真高校、希望が丘高校

2、「ダンス発表会」 2年生 1月11日（金）

2年生は保健体育のダンスの授業において、グループに分かれて創作ダンスに取り組みました。北九州市在住のプロダンサーの方を講師に招き専門的な指導を受け、素晴らしいダンスを創りました。ダンスを通して、運動することの楽しさ、仲間とのコミュニケーション等、多くのことを学びました。みんなが笑顔で楽しい、心温まる発表会でした。

○生徒の感想

発表会は、自然と見ている人もダンスしている人も笑顔になり、ダンス発表会は大成功だと思いました。そして、この発表会を成功できて、2年生の団結力が深まり、よりよい学年になったと思います。これを自信にして来年の体育大会のダンスは、見ている人に感動を与え、最高なものになると思いました。

初めダンスの発表会をすると聞いたとき、ダンス経験者も1～2人しかいなかったで、とても心配でした。でも私の班の人たちは、一生懸命頑張って踊ってくれました。それだけでもすごうれしかったです。そして何よりみんなが楽しそうに踊っていました「楽しい。」「私ダンスが好きかも。」「という言葉もいっぱい聞かせてくれました。他のどのグループもみんな楽しそうで、しっかり踊ってすごいなと思いました。みんなが頑張っている姿はとってもすてきでした。ダンスはスポーツとは少し違うので、難しかったと思います。

当日みんなものすごく緊張していましたが、「みんなは今日まで本当に頑張って覚えて、たくさん練習してきたから大丈夫。だから自信をもって、笑顔で踊ってね」というと、自然とみんな笑顔になりました。踊った後、「楽しかった。」と言ってくれてとてもうれしかったです。だから、本当にすごいと思います。これから先もぜひ続けていきたいと思います。先生方にも保護者の方々にも、生徒の一生懸命にがんばる姿をダンスを通して見て頂けると嬉しいです。



3、「介護体験事前学習」 2学年 1月29日（火）

2年生は3月に地域の高齢者福祉施設で介護体験学習を行います。そこで、事前学習として、高齢者の方の生活を正しく理解する必要があります。この事前学習では、地域の高齢者福祉施設の方を講師に招き、車いすの正しい押し方、特別な装具を体に付けて高齢者の歩行体験、高齢者向けの食事試食等を行いました。

○生徒の感想

私は車いす体験が心に残りました。他人から押されると、少し方向を変えるだけなのに怖いと感じました。車いすを自力で操作するときは、思ったよりスピードが出るので驚きました。

私の祖父は車いすを使用しています。私は小さい時から祖父の車いすを押していたけど、子どもに押されるのは少し怖かったかなと思いました。介護の仕事は、やはり高齢者が安心してできるように信頼されることが重要だと感じました。そのために勉強しておくことも大切だし、実際の経験の積み重ねが大事なのだと思います。

祖父の家にはリハビリの人が月に何度か来てくれます。その時祖父に寄り添ってゆっくり歩いてくれたり、楽しい話を笑顔でしてくれたりするのを見て、コミュニケーション能力が大切だと思いました。介護体験学習を通して自分も成長することができたら良いなと思います。介護はとても大変というイメージがありましたが、実際に高齢者から頼られる嬉しさも感じられると知り、介護することはすてきな事だと思いました。

今自分の家には、よく祖母が来て家事を手伝ってくれています。それは昔からだったので、今では当たり前のように感じていますが、今日体験のおもりをつけたり紐をつけて歩いてみると大変で、少し歩いただけであんなに疲れたのは想像もできませんでした。あれほどきつい思いをして自分の祖母は毎日家に来てくれていたことを知ることができ、祖母に対する気持ちもすごく変わりました。そしてこれから自分が年をとって高齢者になった時のことを考えてみるいい経験になりました。

車いすに乗っているときに動かすのが難しく大変だったり、とても苦労していることを知って、なるべく自分の周りに迷惑をかけずに、周りに苦労している人がいたら、迷わず手伝うようにしようと思いました。



4、百人一首大会 1・2学年 1月29日（火）・30日（水）

百人一首大会の目的は、国語における古典学習、日本の言葉の美しさ、人間の心情の豊かさ、日本の伝統文化への理解です。そして句を覚えることを通して努力することの大切さと達成感、さらに集団におけるコミュニケーション能力の育成を目指して取り組んでいます。当日PTA学年委員会の方から、差し入れをいただきました。ありがとうございました。

○生徒の感想

百人一首大会を終えて、いろいろなことを感じました。頑張れば頑張るほど、たくさん取ることができて達成感を得られました。また、百人一首一枚一枚にかける真剣さが大切だと分かりました。相手チームが札を探しているときに、本当に「取りたい。」という気持ちを表していました。それを見て私も自信がついたような気がしました。ただ取るだけではない充実感もあります。それは取って味方の役に立てた時の嬉しさが楽しかったです。

さらに、百人一首の句一つ一つにはちゃんと意味が込められていることが分かったので、先生たちが読み上げる句の意味を理解しようと思いました。今日の大会が終わった後の自分と、覚え始めたばかりの自分を比べてみると覚えていた句の差に大きくびっくりしました。だんだん増えていき、少しずつ成長していく自分がうれしかったです。

百人一首をしたおかげで何事も諦めてはいけないという心が大切だと分かりました。どんな難しい問題でも諦めない力を持ちたいと思います。今まで途中で投げ出していた私に自信をつけてくれたことに感謝しています。



部活動報告

陸上競技部

平成30年度戸畑区中学校新人駅伝競技大会（1月12日 金毘羅池周回コース）

男・女 優勝